

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第50期中間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(当上半期)における日本経済は、輸出の緩やかな増加や、人手不足を背景とした合理化・省力化投資を中心とした設備投資増加など、企業活動は堅調に推移しており、個人消費も持ち直しております。米国の保護主義的な通商政策と米中貿易摩擦の激化による世界的な景気下振れリスクが懸念されておりますが、国内需要は堅調に推移するものと思われま。

ユニットハウス業界におきましては、首都圏を中心とした再開工事が高い水準で行われており、オリンピック関連工事も徐々に開始されて来ていることから、引き続き高い需要が継続することが見込まれます。一方で、資材購入価格の上昇や建設労働者の人材不足により、工期の長期化や建築単価の高騰が顕著になってきております。このような状況の中、当社の主力製品であるユニットハウスは、工期短縮や建築コス

トの抑制が可能な工業化建築物としてますます市場優位性を発揮しております。特に本建築の市場においては、価格優位性やスピード施工、現場の職人の熟練度に左右されない品質の安定性など、「ユニット工法」の持つ本質的な価値が見直され、その優位性は顕著なものとなっております。

2008年から2018年まで、10年ビジョン「技術力と収益力において世界一のモバイルスペースメーカーになり、資源循環型ビジネスにより社会へ貢献する。」を掲げ、従来の仮設建築市場だけでなく本建築市場へと領域を広げてまいりました。この間に売上高は2.3倍となり、リユース可能なユニットハウス市場を拡大することで、資源循環型社会の実現に微力ながら貢献してまいりました。

今期より新たな10年ビジョン「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する。」を掲げ、新規製品の開発、市場の開拓、業容拡大のための設備の拡充等に積極的に取り組んでおります。

国内においてはユニットハウスの特性をより一層発揮することができる不動産市場へと進出してまいります。また海外においては、ミャンマーとマレーシアでの子会社設立に続き、シンガポールに支店を開設し、ASEAN地域への事業展開を推し進めております。

今後も創業当時から受け継がれてきたフロンティアスピリッツ(開拓の精神)を原点に、社会に貢献する会社を目指し、情熱を持って活動してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成30年12月

代表取締役社長

長喜貴嗣

基本理念

目的(存在理由)

社会への貢献

わたしたちは社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観(不変の主義)

- 開拓の精神** わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、未開の地(新しい分野)に挑戦することを誇りとします。
- 不断の努力** わたしたちは、弛みない努力によって、困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。
- 誠実な意志** わたしたちは、わたしたちを支える人々^{*}に対し、揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー(お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など)を指します。

10年ビジョン

10年ビジョン(2008年4月～2018年3月)

「技術力と収益力において世界一のモバイルスペースメーカーになり、資源循環型ビジネスにより社会へ貢献する。」

2008年4月に10年ビジョンとして掲げ活動してまいりました。事業領域を仮設建築市場から本建築市場へ拡大するとともに、空調機器や配電設備など機能を付加した製品開発を積極的に進め、工事期間の短縮や快適性の向上、リユース力の強化を図りました。

拠点としては、2013年9月に茨城県土浦市につくば工場を新設。展示場は2018年3月に全県への出店を完了し、店舗数は185店舗に。トランクルームも前期末には370店舗となり、店舗網を拡充してまいりました。あわせて設計・施工協力会社のネットワークを全国へと展開し、お客様のニーズに細かく対応しています。

これらの活動を通じ、売上高は2.3倍、経常利益は4.2倍へと拡大してまいりました。

新10年ビジョン(2018年4月～2028年3月)

「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する。」

2018年4月より新たな10年ビジョンを掲げ活動を開始いたしました。ユニットハウスの特性をより一層発揮することが

できる不動産市場へと事業領域を広げべく、事業開発、製品開発に取り組んでおります。

多層階や大規模な建築物に対応する新規製品、工法の開発を進めており、その一環として、千葉県柏市の当社敷地内にメモリアルホールを建設いたしました。また、ASEAN地域を中心に海外進出を進め、ミャンマーおよびマレーシアの子会社設立に続き、シンガポールに支店を開設しております。

今後も、事業、製品、市場を開拓し、モバイルスペースをお客様に届けることで、社会へと貢献してまいります。

売上高・経常利益(連結) ※第43期より連結

